



静岡県議会報告

令和元年11月号



自民改革会議
静岡県議会議員

おち あい しん ご
落合 慎悟



地域の声を県政に反映
ご意見ご要望をお聞かせください。



10月12日 16時頃、台風19号 藤枝市内河川状況視察

静岡県は12日午後3時に災害対策本部（県庁）を発令設置し、賀茂・東部・中部・西部の各地域局は市町連絡体制を整備した。中部地域局（藤枝総合庁舎内）は前日から8人が泊まりで待機。

藤枝総合庁舎内の対策本部	対策本部の危機管理	栃山川大東町付近	高州和田線高州小の南側	黒石川高州小東側	小石川築地明治製菓東側
中部地域局対策本部には陸上自衛隊も配置された。瀬戸川・内瀬戸谷川合流	志太榛原地域の市町直通電話回線や地図情報。瀬戸川西高橋	島田市栃山水門を閉鎖し東光寺谷川だけの流れ。六間川境橋付近	黒石川満水で黒川が溢れ田や道路、県道まで冠水。葉梨川相ノ田橋から上当間	高州小南側の黒石川は越流し側道まで溢れた。朝比奈川仮宿付近	水量計を取付けてある橋も満水状況で下流側は冠水。朝比奈川村良下橋

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」強靱化計画、総事業費7兆円

静岡県30年度補正予算、河川浚渫等に瀬戸川3億9,000万円、朝比奈川2億7,000万円で工事中。

昨年7月豪雨、台風第21号、大阪北部地震、北海道胆振東部地震、豪雪等をはじめ、近年激甚な災害が頻発しており、災害で明らかとなった課題に対応するため、総理大臣からの指示を受け、防災のための重要インフラ、国民経済・生活を支える重要インフラについて、災害時にしっかり機能を維持できるよう政府全体で総点検が行われ、3か年緊急対策事業を予算化した。



瀬戸川浚渫後の現在

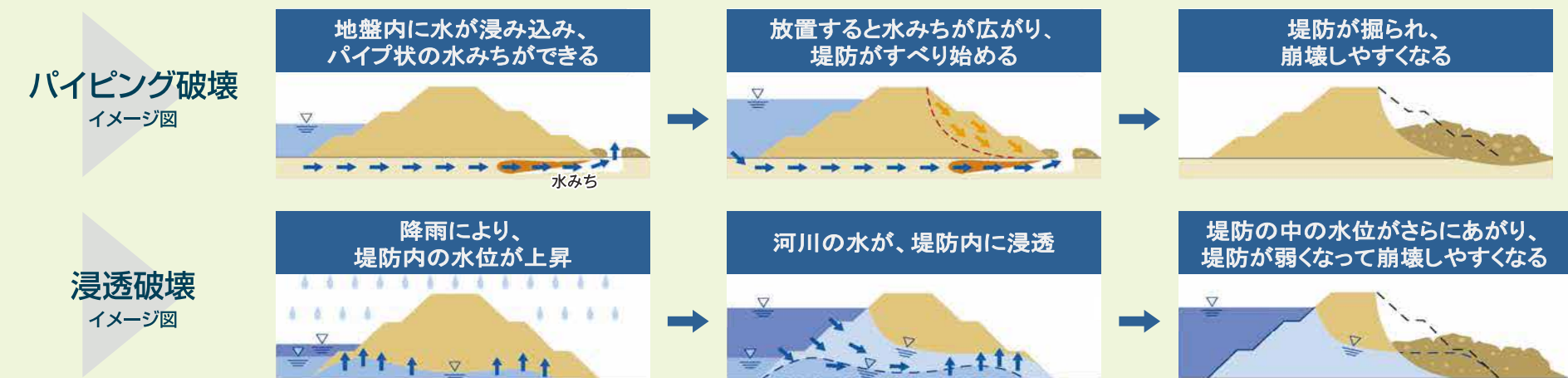


朝比奈川浚渫後の現在

堤防決壊のメカニズム

洪水による堤防の決壊には ①浸透による堤防決壊、②侵食・洗掘による堤防決壊、③越水による堤防決壊の3つに大別。

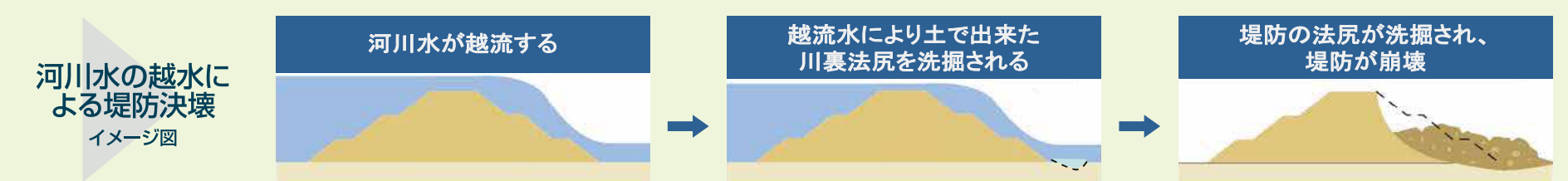
① 河川水の浸透による堤防決壊



② 河川水の侵食・洗掘による堤防決壊



③ 河川水の侵食・洗掘による堤防決壊



10月14～16日、台風19号 栃木・福島・茨木・埼玉・長野県河川被災状況視察

栃木県佐野市 秋山川 佐野市役所災害対策本部を視察、毛塚危機管理課長の説明、橋崩落9ヶ所、道路損壊8ヶ所、秋山川右岸決壊床上浸水539棟、床下浸水539棟、住民を自衛隊・消防又防災ヘリで救出、避難者1450世帯、4217人。現在、避難所9ヶ所、180人。



茨木県水戸市 那珂川 水戸北スマートICが水没して、1ヶ月経った現在も閉鎖されている。水没危険地域に施設を設置する時点で対策が必要。



茨木県陸奥大宮市 那珂川 茨木県では、那珂川と久慈川で堤防決壊は12ヶ所、堤防を乗り越える越水は36ヶ所、護岸崩壊も29ヶ所で起きた。（10月15日）14日の時点で茨木県は那珂川の堤防決壊は2ヶ所と報道していた。15日に調査して12ヶ所、その後の調査で14ヶ所となった。



埼玉県川越市 越辺川 越辺川の堤防決壊は1ヶ所、溢水・越水が5ヶ所、決壊した堤防脇に朝日航洋のヘリポートがあり、ヘリコプターも被災した。



長野県長野市稲保 千曲川 堤防が70m決壊した千曲川は、越水が原因とされた。水が住宅側から堤防斜面を削ったとみている。長野市は午後11時に避難指示を出し、国は午前1時に、レベル5氾濫発生情報を出したが、国から長野市へ決壊情報はなかった。



台風15号 被災状況視察

9月22日 伊東市



伊東市では山崩れで深さ5mの排水路トンネルが土砂に埋まり、池地区の水田が広く水没した。国交省のポンプ車などが出動し、排水と、土砂の撤去作業をおこない、10日ぶりに排水を完了した。

10月22日 千葉県市原市



市原ゴルフガーデンの鉄塔が強風で隣接する民家の屋根等に倒れ、大きな被害となった。倒壊は天災のため、家屋被害の補償はしないとの表明だが、鉄塔の内側基礎は簡素で人災と思う。

10月22日 千葉県館山市



館山市の瓦屋根の古い家の多くが被害にあった。1か月余の状況でもブルーシートで屋根が覆われている家が多く、強風対策も必要だ。自衛隊の災害派遣で屋根修理を行っていた。